

## (参考) 過去に札幌市が行った市政参加の促進に向けた試験的取組

### 市民による集中評価会議

#### 実施時期

- ・平成19～25年度

#### 開催目的

- ・自治基本条例第31条に規定している「本市の施策が条例の趣旨に沿って整備され、また運用されているかどうかを市民参加の上で評価する」仕組みづくりに向けた取組の一環。
- ・行政に声を届ける機会の少なかった市民の参加を促し、その声を市政に反映させる。

#### 実施手法

- ・局区実施プラン計上事業のうち、「市民参加の促進」に取り組んだ事例を数例抽出、情報提供し、市民の視点から「市民の参加が具体的に促進されているか」等について評価。
- ・無作為抽出した18歳以上の市民2千人に参加を呼びかけ、応募のあった方から30人を選出。性別や年齢層のバランスを札幌市の構成と同様になるよう考慮。参加者には報酬を支払った。

#### 会議の進め方

- ・事例ごとに事業担当課から説明を行った後、個人の印象で投票を行い、それについて各グループ（1グループ4～5人）内で意見交換をした後に、2回目の投票を行い、最後にグループとして意見をまとめ、発表を行う。期間は1～2日間。

事例説明 ▶ 投票（1回目） ▶ 話し合い ▶ 投票（2回目） ▶ まとめ発表

#### 評価の結果（H19年度）

- ・同じ対象を評価した行政評価委員会とほぼ同様の評価が導き出された。
- ・2回の投票に関しては、全体としてあまり意見の変化はみられなかった。

#### 結果の活用（H19年度）

- ・市役所内での情報共有、各部署における取組促進、改善に活用。

#### 参加者の意見（H19年度）

- ・参加について「大変満足」「満足」が多かった。
- ・今後の参加について、「ぜひ参加したい」「日程が合えば参加したい」が多かった。

### 討論型世論調査

#### 実施時期

- ・平成25年度に「雪とわたしたちの暮らし」をテーマに実施

#### 開催目的

- ・参加者同士の討論や情報提供を通じて、参加者の意見がどのように変わるのかを探り、今後の雪対策に生かす。
- ・討論型世論調査そのものが市民参加の推進に有効かどうかを検証する。

#### 実施手法

- ・通常の世論調査に加え、テーマについての資料や専門家からの十分な情報提供のもと行われる「討論フォーラム（小グループ討論＋全体会議）」により、じっくりと検討した後、再度アンケート調査を行い、意見や態度の変化を見る。
- ・無作為抽出した18歳以上の市民3千人にアンケートを郵送し、討論会の参加申込書を同封。応募のあった方205名が参加し、討論会を実施。参加者には報酬を支払った。

#### 会議の進め方

- ・テーマに関して、最初にアンケート調査を行った後、「小グループ討論（16～17名程度）＋全体会議」を2セット実施し、最後にアンケート調査を行った。

世論調査 ▶ 討論会 ▶ アンケート ▶ 小グループ討議＋全体会議×2 ▶ アンケート

#### 調査の結果

- ・傾向としては、雪対策の満足度が上がったり、生活道路については満足度が上がったものの低い水準のままであったり、雪かきボランティアなどに協力できるという意見が増えるなどの変化が見られた。

#### 結果の活用

- ・庁内での情報共有、今後の事業の検討に活用。

#### 参加者の意見

- ・「参加してよかった」「また参加してみたい」「人の意見を聞いて新たに気づかされることがあった」といった意見が多かった。